

「なんでまだここにいるんだ」

ウエイト 英士朗、東京の自宅でうずうず



ウエイトリフティングの村上英士朗選手（右）と妻里佳子さん
＝4月28日、富山市上野

村上里佳子（むらかみ・りかこ）旧姓清水。富山市出身。東京都在住。奥田中、滑川高、立命館大OG。パリ五輪ウエイトリフティング男子102キ超級代表・村上英士朗の妻。2017年5月、全日本女子選手権90キ超級で優勝。18年3月、日本学生選抜大会では英士朗が男子105キ超級で優勝、里佳子が女子90キ超級で優勝。27歳。



そんな彼が高校から目指してきた五輪の舞台が目前に迫ってきました。「いつか英士朗先輩はオリンピックに行くんだろうな」と思っていました。私が想像したよりも時間がかかった印象です。

富山県代表として

ともに過ごしてきたリオ・東京五輪は落選してしまい、今回やっとつかんだ切符。パリで富山県代表として誇らしく頑張っしてほしいです。

私自身も五輪を目指していたのですが、彼の真摯な姿を見ていると、私にはかなわないなと思いました。

元全日本女王、同じ滑川高

き合いし、昨年12月に結婚しました。

滑川高の先輩時代（お付き合いする前）から、インターハイで優勝や、高校新記録も連続更新する憧れの先輩でした。競技面で見たら「強い」「怖い」「デカイ」の3拍子でしたが、練習が終われば心優しい先輩思いの先輩でした。ギャップ萌えでした！

彼は五輪に出たいという気持ちはもちろんあったとは思いますが、それよりもウエイトリフティングを愛する気持ちが強いので、そのパワーが五輪出場に結び付いたのかな。

競技も始まりました。開会式前から予選が始まっていて「はやっ！」と思いました。

サッカー男子日本代表が快勝しましたね。私の勤務先であるサイバーエージェント（東京）が応援しているJ1・町田ゼルビアの藤尾翔太選手が後半でシュートを決めたのはうれしかったです。強豪のパラグアイ相手に5得点はすごいです。

まだ行ってないの？

自宅では英士朗さんがうずうずしています。彼の出発が31日まで東京にいるので、「なんで俺はまだここにいるんだ」と言っていました。合宿所でも「まだパリ行ってないの？」と声を掛けられたみたいです。ニュースや報道で見るパリ五輪の始まりをまだ信じられていない感じです。（五輪開催中、随時掲載します）

◇連載「日本海側からのSOS」は22面に移しました。